

第3学年2組 保健体育科学習指導案

学習指導者 教諭 柴坂 匡一

1 日時 平成30年10月18日(木) 5校時 3年2組教室

2 題材 保健分野「健康な生活と疾病の予防」

3 題材について

(1) 健康は主体と環境を良好な状態に保つことで成り立っている。健康を保持増進するためには運動や食事、休養などの主体の要因だけでなく、社会的環境や生物学的環境、物理・科学的環境を整備する必要がある。また、心身の状態が不調である場合にはできるだけ早く医療機関に受診することが重要であるとともに、医薬品には主作用と副作用があることや使用回数や使用時間、使用量などの使用法があり、正しく使用する必要がある。

多くの中学生は、医薬品をこれまでの日常生活の中で使ったり、薬局や薬店・ドラッグストア等で見たり、テレビや新聞等の宣伝で見たりするなど、何らかの形でその存在を知っていると考えられる。医薬品とは何かについて考え、そして、医薬品の本質として主作用と副作用があるということを理解させるとともに、医薬品を上手に、正しく選択し、使用していくというセルフメディケーションの考え方にふれ、生涯にわたって健康の保持増進を実践していく力が身につくことを期待できる題材である。

(2) 本学級の生徒はおとなしいが、発問に対しては反応がよい。個人の意見を積極的にグループ活動に生かすことができる。本単元を学習する前に医薬品についてのアンケート調査を行った。その結果、家庭に常備薬があり、スーパーで医薬品を買った経験があるという回答が多いことから医薬品は生徒の身近なものであることがわかる。また、医薬品の服用に関して「お茶やジュースを使って服用した経験がある」「他人から医薬品をもらって服用した経験がある」と回答した生徒が70%いた。このことより医薬品の正しい使用法が身につけていない現状が明らかになった。

(3) 指導に当たって以下の点を留意したい。

- ・ 日常生活に関係の深い題材を取りあげ、教材として使用することで生徒の関心・意欲を高める。
- ・ グループ内で話し合い活動の場を設け、生徒相互の意見交換を活発にすることで思考を整理し、深めさせる。
- ・ 写真や実物などの視覚教材を利用して関心を高め、身近なものとして捉えさせる。

4 学習指導計画(全3時間)

- ・ 保健・医療機関の利用 ……1時間
- ・ 医薬品の有効利用 ……1時間(本時)
- ・ 共に健康に生きる社会 ……1時間

5 本時の学習指導

(1) 目標

医薬品には主作用と副作用があることや、服用時間や服用方法など正しい使用方法があることを理解することができる。

(2) 確かな学力を身につけさせるための工夫

- ・ 実際の医薬品や添付文書を使用することで医薬品の正しい使用法を読み取らせ、医薬品の有効活用について考えさせる。
- ・ 日常生活でついしてしまう誤った医薬品の服用方法を取りあげ、正しい利用方法について考えさせる。

(3) 学習指導過程

	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	1 医薬品についてのクイズを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に関するいくつかのクイズを行い医薬品に関する興味関心を高める。 	
展開	2 本時の課題について知る。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> 〈学習課題〉 くすりのリスクを理解し、正しく利用できるようなろう。 </div>		
	3 医薬品に添付されている添付文書から正しい使用法を読み取り、ワークシートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートにはあらかじめ「用法・用量」「注意事項」を例示しておき、どのように記入するとよいか分かるようにしておく。 ・ 医薬品の添付文書には様々な情報が書かれていることに気づかせる。 	【関心・意欲・態度】 医薬品の添付文書に書かれている内容を読み取り、積極的に書き出そうとしている。
	4 医薬品の主作用と副作用について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主作用や副作用と添付文書に書かれている内容を関連づける。 ・ 日常生活でよく使う医薬品の副作用についても説明する。 	【知識・理解】 主作用と副作用について理解し、医薬品の正しい使用法が理解できている。
	5 医薬品を飲むときに水以外で服用してはいけない理由について考える。 (1) いけない理由を予想する。 (2) 実際に医薬品（胃薬）をオレンジジュースで飲んだらどうなるかを確認する。 (3) 実験の結果から医薬品を水以外で飲んではいけない理由を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 胃薬の添付文書に記載されている成分や働きと、オレンジジュースに含まれるクエン酸を関連させて考えさせる。 ・ 水とオレンジジュースそれぞれに薬（重曹）を入れて、反応を観察し、効果が薄れることを確認させる。 ・ 飲み合わせによっては効果が低くなったり、効き過ぎたりすることがあることに気づかせる。 	【思考・判断】 医薬品の正しい利用方法について、自分の意見とその理由について書き出している。
まとめ	6 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入に行ったクイズにもう一度答え、解説を行う。 ・ 授業を振り返らせ、医薬品の使用法について今後どのようにしていきたいかを、ワークシートに記入させる。 	